

平成25年度 第4回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概要>

受注量について、DI値は前回調査とほぼ同じ、「減った」とする回答は減少し、一昨年9月末調査以来の改善傾向が今回も継続した結果となっている。

しかしながら、今後の見通しについては、3月までのかけこみ需要の影響を考慮してか厳しい見通しとなっている。

<今回調査の特徴>

- 受注量：「増えた」「減った」とも減少するも、DI値はほぼ前回と同じで改善傾向は継続。
- 受注見通し：縫製以外の業種で「減少」の見通しが増加。
- 受注単価：3期ぶりに改善傾向がストップ。精密機器では4割近くが「低下」。
- 資金繰り：受注単価同様、5期ぶりに改善傾向がストップ。
- 採算状況：資金繰り等厳しいものの、「赤字」は減少。
- 受注余力：減少傾向にあった「余力あり」が増加。

(平成26年3月末現在)

公益財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	30企業	② 金属製品関係	45企業
③ 一般機器関係	45企業	④ 電気機器関係	45企業
⑤ 輸送用機器関係	30企業	⑥ 精密機器関係	30企業
⑦ 縫製関係	45企業	⑧ 樹脂製品関係	30企業

(3) 調査時点

平成26年3月31日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

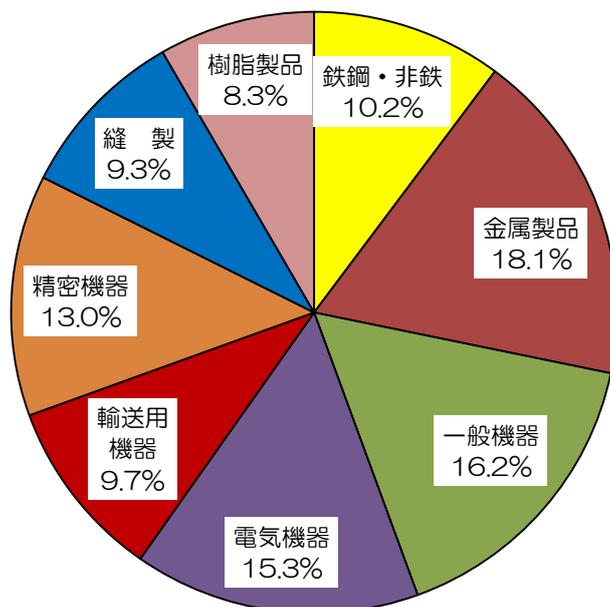
調査項目（受注量、受注量の今後の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

① 調査対象企業数	300 企業		
② 回収企業	216 企業		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	22 企業	(10.2%)
	金属製品関係	39 企業	(18.1%)
	一般機器関係	35 企業	(16.2%)
	電気機器関係	33 企業	(15.3%)
	輸送用機器関係	21 企業	(9.7%)
	精密機器関係	28 企業	(13.0%)
	縫製関係	20 企業	(9.3%)
	樹脂製品関係	18 企業	(8.3%)
④ 回収率	72.0 %		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
個人	14 6.5%	2 9.1%				1 4.8%	1 3.6%	10 50.0%	
～300万円	11 5.1%		3 7.7%		1 3.0%	3 14.3%	1 3.6%	1 5.0%	2 11.1%
301～999万円	11 5.1%		3 7.7%		1 3.0%	3 14.3%		2 10.0%	2 11.1%
1000～2000万円	123 56.9%	11 50.0%	28 71.8%	21 60.0%	22 66.7%	7 33.3%	17 60.7%	7 35.0%	10 55.6%
2001～5000万円	42 19.4%	5 22.7%	5 12.8%	12 34.3%	7 21.2%	4 19.0%	5 17.9%		4 22.2%
5000万円超	15 6.9%	4 18.2%		2 5.7%	2 6.1%	3 14.3%	4 14.3%		
合計	216 100%	22 100%	39 100%	35 100%	33 100%	21 100%	28 100%	20 100%	18 100%

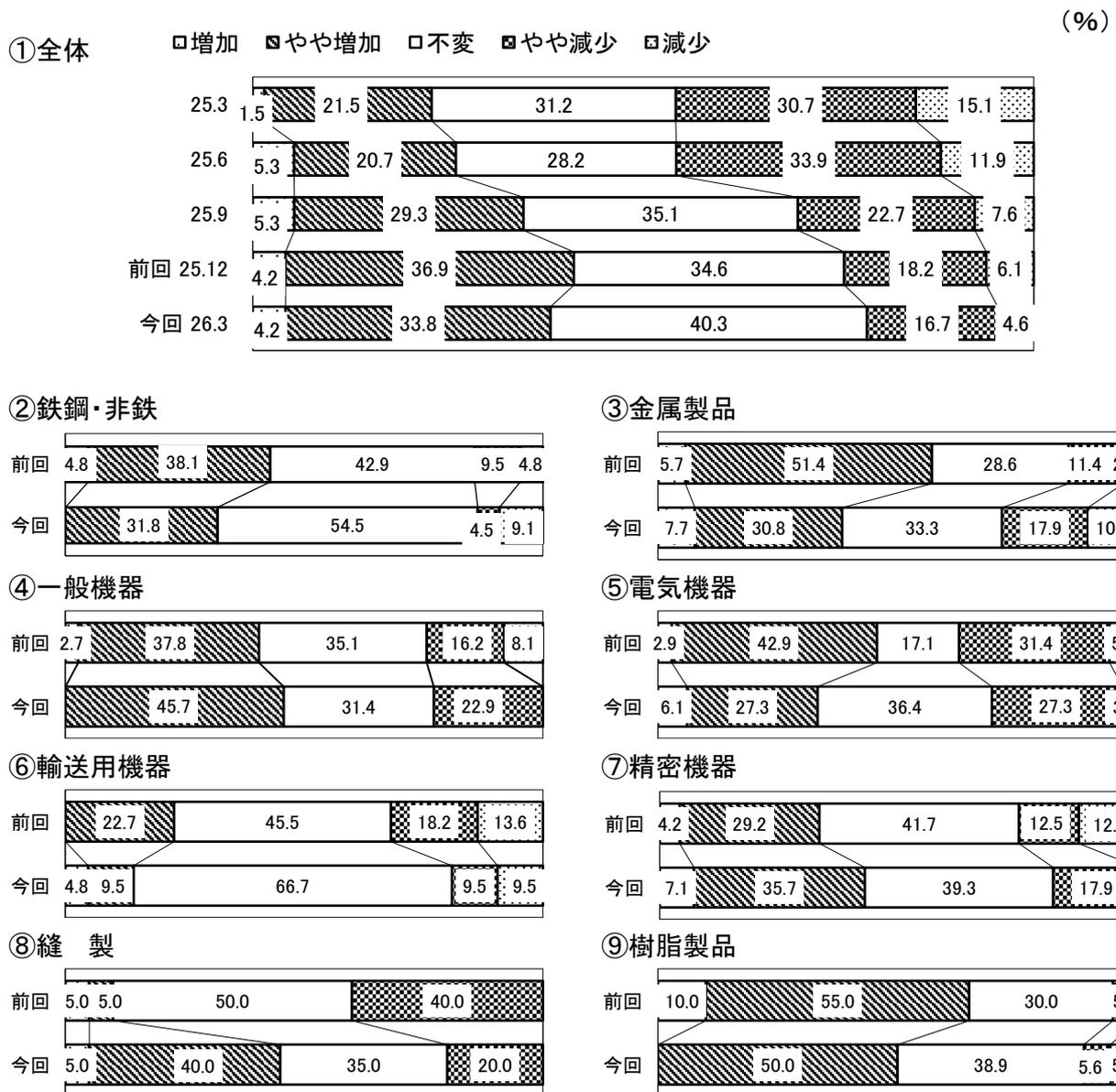
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
1～5人	26 12.0%	5 22.7%		2 5.7%	1 3.0%	4 19.0%	1 3.6%	11 55.0%	2 11.1%
6～10人	23 10.6%	2 9.1%	5 12.8%	1 2.9%	4 12.1%	3 14.3%	4 14.3%	2 10.0%	2 11.1%
11～20人	62 28.7%	3 13.6%	15 38.5%	12 34.3%	9 27.3%	5 23.8%	8 28.6%	5 25.0%	5 27.8%
21～30人	34 15.7%	3 13.6%	10 25.6%	7 20.0%	5 15.2%	3 14.3%	3 10.7%		3 16.7%
31～50人	34 15.7%	6 27.3%	4 10.3%	7 20.0%	6 18.2%	1 4.8%	5 17.9%	2 10.0%	3 16.7%
51人以上	37 17.1%	3 13.6%	5 12.8%	6 17.1%	8 24.2%	5 23.8%	7 25.0%		3 16.7%
合計	216 100%	22 100%	39 100%	35 100%	33 100%	21 100%	28 100%	20 100%	18 100%

3. 調査結果

(1) 受注量について



○全体

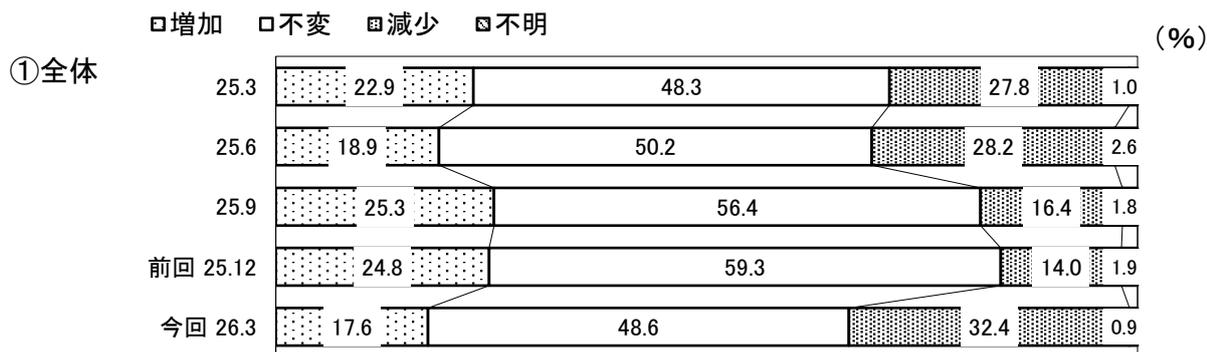
1月～3月期の全体の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は、「増えた」「減った」とともに減少して16.7となり、前期（10月～12月）の16.8とほぼ同じとなった。

○業種別

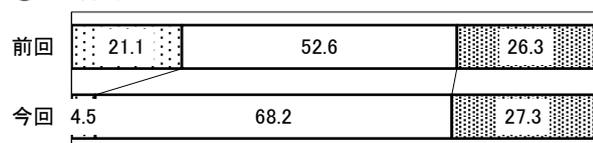
業種別D Iでは、縫製で「増えた」とする企業45.0%に対して「減った」とする企業が20.0%と減少して25.0（前期差55.0ポイント上昇）と大幅な改善が見られる。精密機器でも「増えた」とする企業が42.8%と増加して24.9（前期差16.5ポイント上昇）と改善が見られる。

一方で、金属製品は前回57.1%あった「増えた」が今回は38.5%で10.3（前期差32.5ポイント低下）と悪化が見られ、また、樹脂製品も「増えた」が前回の65.0%から50.0%に減り、38.8（前期差21.2ポイント低下）と悪化が見られる。

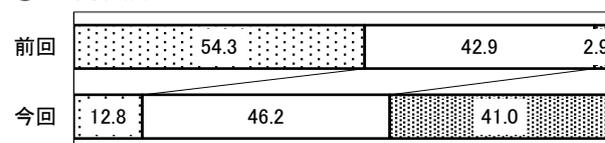
(2) 受注量の見通しについて



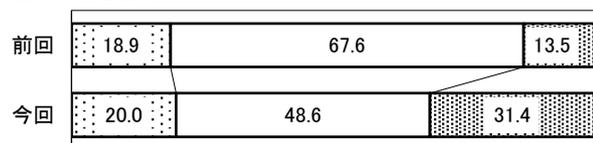
②鉄鋼・非鉄



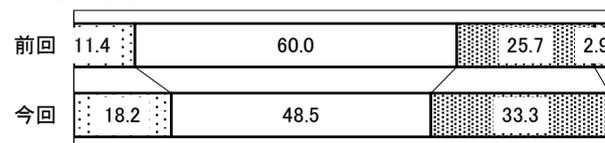
③金属製品



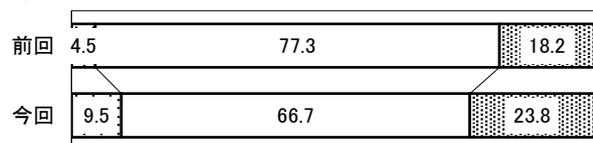
④一般機器



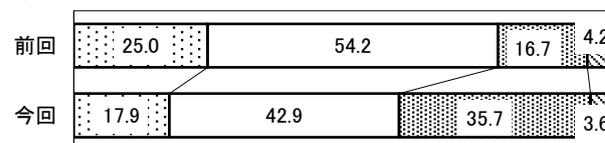
⑤電気機器



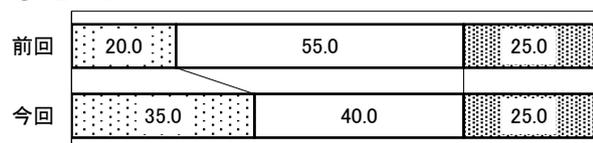
⑥輸送用機器



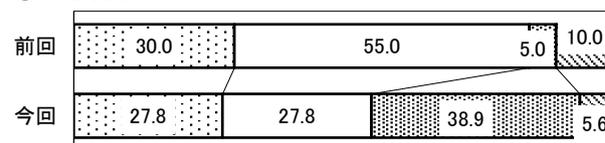
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

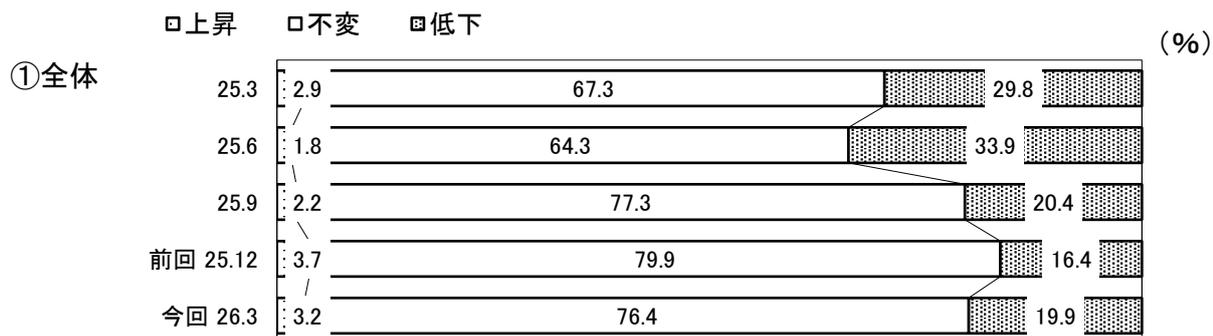
次期（4月～6月期）受注量見通しの全体の業況判断DI（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は△14.8となり、前回（1月～3月）に比べ25.6ポイント悪化の見通しとなっている。

○業種別

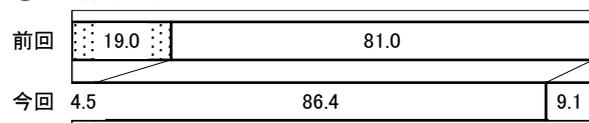
業種別DIは、金属製品では、前回半数超の企業が「増加」としたものの今回は「減少」が多く、△28.2（前期差79.6ポイント低下）と大きく悪化。精密機器でも△17.8（前期差26.1ポイント低下）、樹脂製品で△11.1（前期差36.1ポイント低下）と悪化の見通しである。

一方、縫製では10.0（前期差15.0ポイント上昇）と唯一改善の見通し。

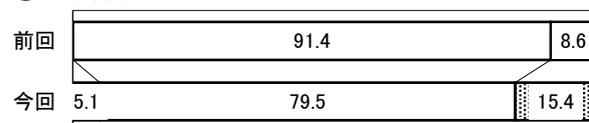
(3) 受注単価について



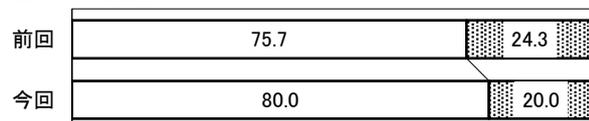
②鉄鋼・非鉄



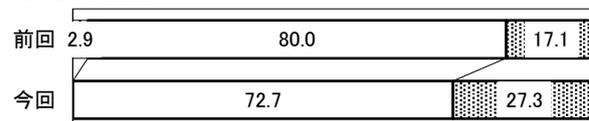
③金属製品



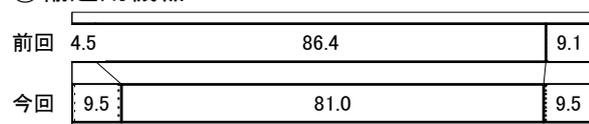
④一般機器



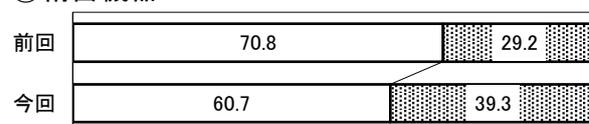
⑤電気機器



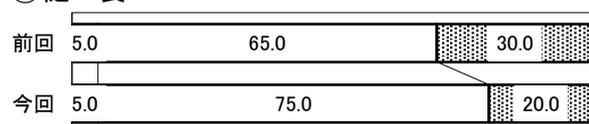
⑥輸送用機器



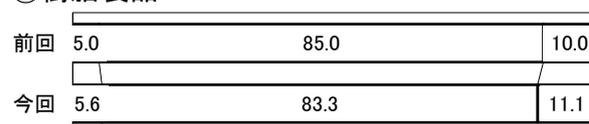
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

1月～3月期の全体の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は△16.7と若干マイナス幅が拡大し、前期（10月～12月）に比べ4.0ポイントの悪化が見られる。

○業種別

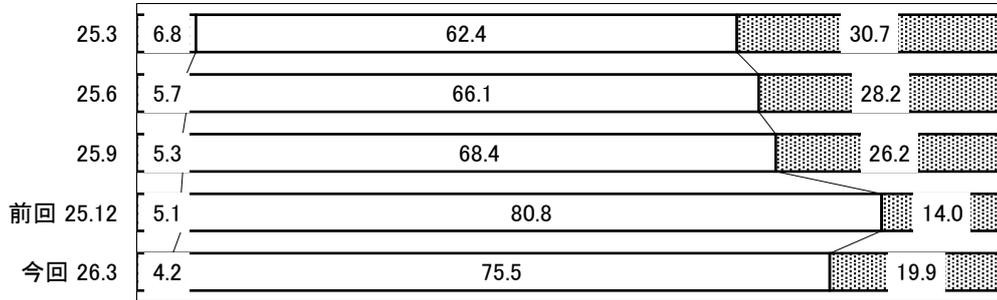
業種別DIは、前回調査で「上昇」の回答が目立った鉄鋼・非鉄であるが、△4.6（前期差23.6ポイント低下）と大きく悪化が見られる。また、精密機器で△39.3（前期差10.1ポイント低下）、電気機器で△27.3（前期差13.1ポイント低下）と、ともに「上昇」の回答はなく厳しい状況である。

(4) 資金繰りについて

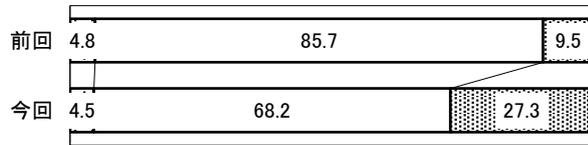
(%)

①全体

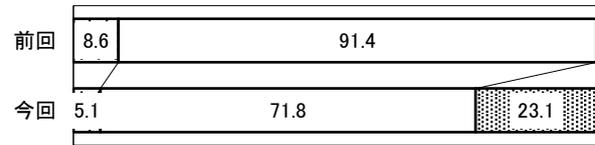
□好転 □不変 □悪化



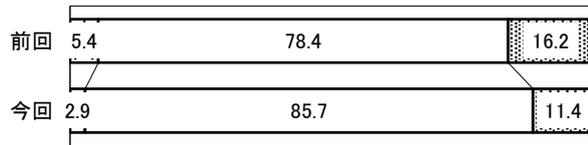
②鉄鋼・非鉄



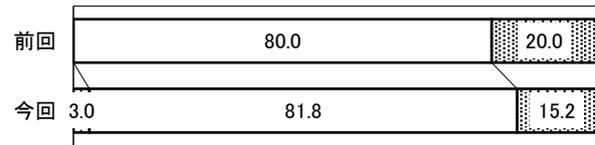
③金属製品



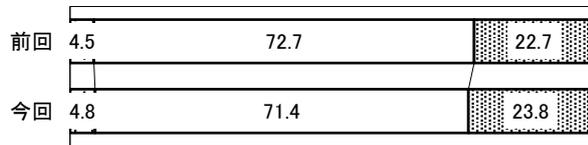
④一般機器



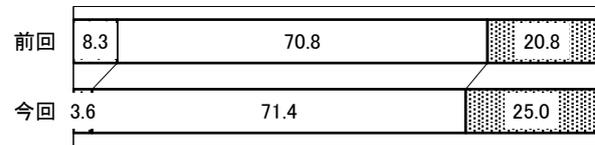
⑤電気機器



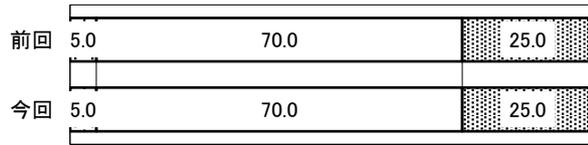
⑥輸送用機器



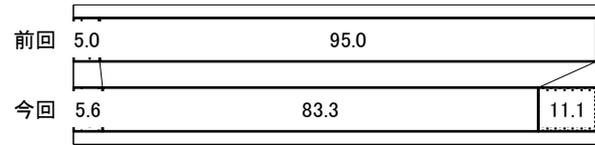
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

1月～3月期の全体の業況判断DI（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は、△15.7で前期差6.8ポイント低下と改善傾向から一転、悪化が見られる。

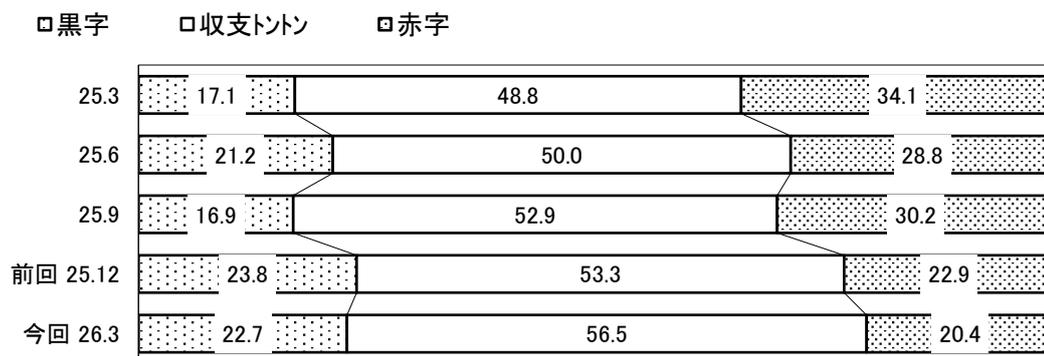
○業種別

業種別DIは、鉄鋼・非鉄で△22.8（前期差18.1ポイント低下）、前回改善が大きかった金属製品で△18.0（26.6ポイント低下）と大きく悪化が見られる。

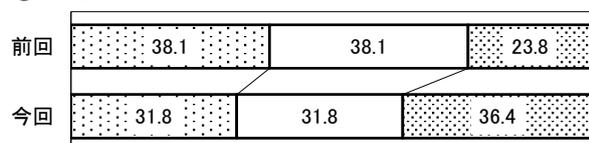
(5) 採算状況について

(%)

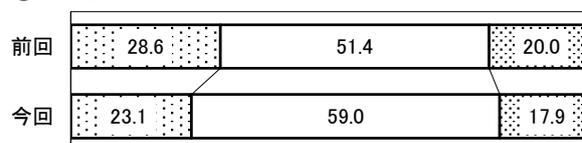
①全体



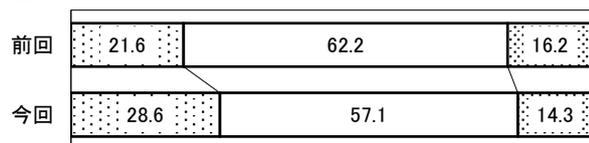
②鉄鋼・非鉄



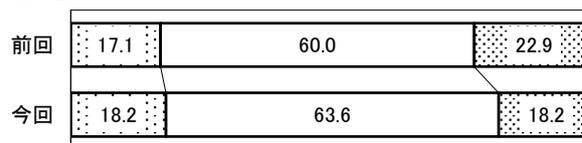
③金属製品



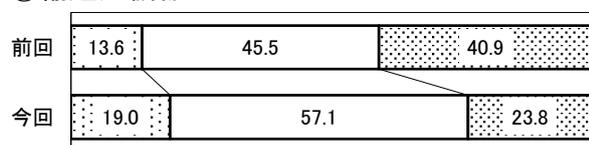
④一般機器



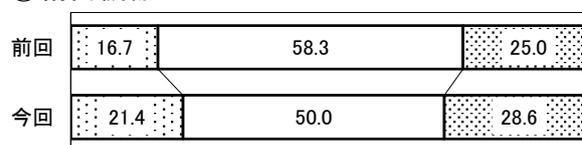
⑤電気機器



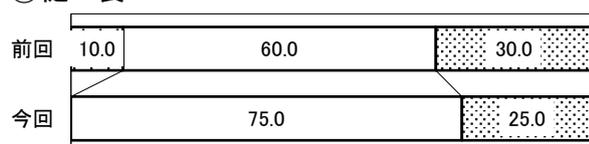
⑥輸送用機器



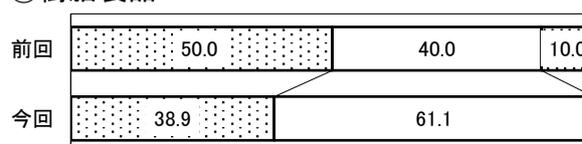
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

1月～3月期の全体の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は2.3となり、前期（10～12月）に比べて1.4ポイント上昇と僅かに改善が見られる。

○業種別

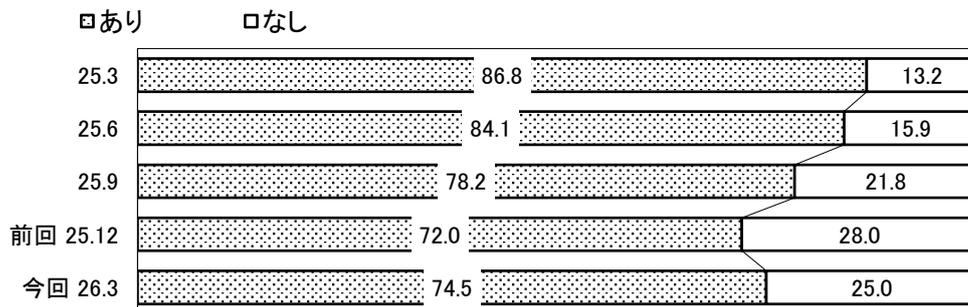
業種別DIは、輸送用機器では△4.8（前期差22.5ポイント上昇）と大きく改善。一般機器でも14.3（前期差8.9ポイント上昇）と改善が見られる。また、樹脂製品では「黒字」が減ったものの、「赤字」とする企業は見られない。

一方、鉄鋼・非鉄で△4.6（前期差18.9ポイント低下）と悪化が見られる。

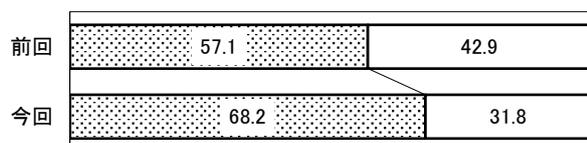
(6) 受注余力について

(%)

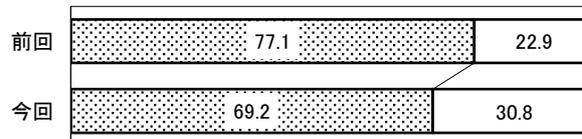
①全体



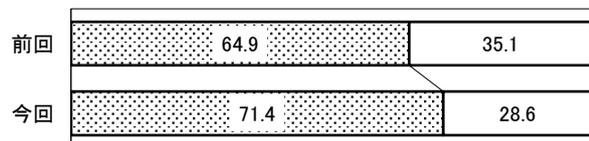
②鉄鋼・非鉄



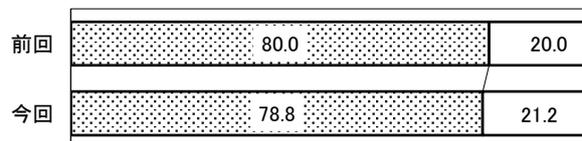
③金属製品



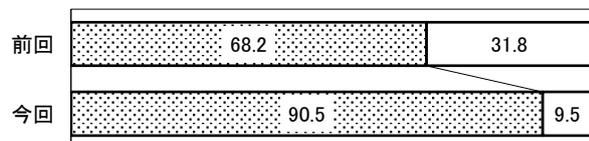
④一般機器



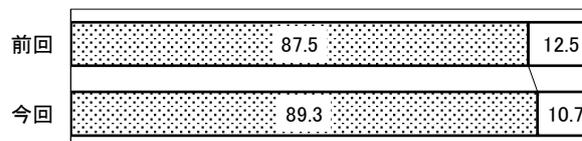
⑤電気機器



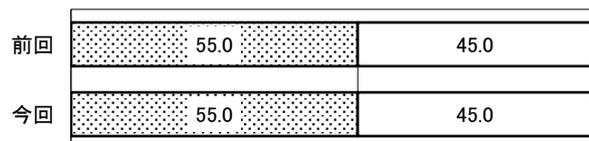
⑥輸送用機器



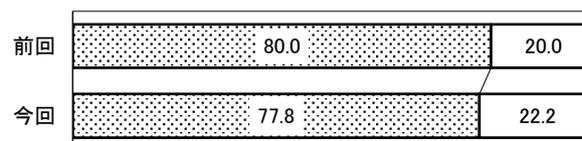
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

「受注余力あり」とする企業は、74.5%と前期に比べて2.5ポイント増えている。

○業種別

輸送用機器では、「受注余力あり」とする企業が9割を超え、精密機器でも9割近くが「受注余力あり」としている。

また、縫製では、前回と同様45.0%が「受注余力なし」としている。



公益財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-9234 FAX (075) 315-9240

E-mail: office@ki21.jp

U R L : <http://www.ki21.jp>